

未来の子どもたちに残したいマチへ マチごとエコタウン所沢

第32号



環 境 会 報

所沢市環境推進員連絡協議会

人と自然が調和した望ましいエコタウン・・実現のために

◇良質の環境モラルを培っていく原動力に◇

所沢市環境推進員連絡協議会 会長 毛利 吉成

暑いあつい夏でした。今夏の暑さを「酷暑」の夏と…。報道は、連日の35度以上の猛暑日を「猛烈な暑さ」、「命に関わる猛烈な」「過去最高気温」と最高級の暑さの表現をしています。7月23日には、熊谷で国内最高、41.1℃を超える観測史上最高気温を記録。熱中症とみられる症状で病院に運ばれる報道も連日されていました。市の防災無線は、日中の外出を控えるように、室温の調整、こまめな水分補給による体温調整の、注意喚起放送をするなど「命に関わる」がこの夏の枕詞にもなっていました。

今から1,000年前の平安時代は、地球の温暖期だったそうです。暑かった夏の記録があります。清少納言は、枕草子にとんでもない暑い日を「いみじう暑き昼中に…」とか、暑さ凌ぎに氷水で嬉々として遊んだ様子を、枕草子第39段の「あてなるもの（上品なもの）」で、「削った氷を甘蔓という植物の樹液でつくった甘味を金属製のお椀にいれて食べた」今でいう「かき氷」です。さらに「氷水に手をひたし、もてさわぐ」と暑さしのぎの有効な消夏法として今と変わらぬ氷水や冷水で遊んでいたとは、「いとをかし」です。

今年は、環境推進員の改選期にあたりました。30・31年度期の環境推進員として藤本正人

所沢市長から新たに1,121人が委嘱をされ動きだしました。今、所沢市では、「地域から持続可能な環境づくり」、「自然との心地良い関わり」そして「省エネ、低炭素化、再利用エネの活用、3Rの実践活動に伴う資源循環の実践」などの諸環境施策を鋭意展開中です。これらの施策展開をメッセージとして地域反映していくことが環境推進員として課せられた期待のひとつと考えております。



また、地球環境の喫緊の課題にも関心をもち、グローバルな視点で国際的な課題に対しても敏感に察知し互いに交わりを持ち情報の共有を図り問題解決して行くことも大切です。そして環境推進員は、環境形成者としての自覚を持ち、良質な環境モラルを培っていく原動力でありたいものです。

そのことが人と自然が調和した望ましいエコタウン像「未来の子どもたちに残したいマチ」の実現に寄与していくものと確信しております。

どうか、環境推進員皆様ご理解、ご協力をお願い申し上げますと共に益々のご活躍を御祈念申し上げます。

よき所沢のノスタルジアを感じさせる

「トトロの生まれたところ」のトトロは所沢生まれ！

『トトロの生まれたところ』と題した書籍が刊行
株式会社スタジオジブリ社は、宮崎 駿氏の監修のもと宮崎朱美氏が「となりのトトロ」の舞台となった所沢を美しいスケッチ日記で綴った「トトロの生まれたところ」を編集、岩波書店が発行
「トトロの生まれたところ所沢」の所沢のイメージアップは、この本から発信です。



環境教材としても最適。御愛読を！

（ 監修者 宮崎 駿 編者 スタジオジブリ
発行所 株式会社 岩波書店 編集 株式会社スタジオジブリ 出版部 ）

所沢地区環境推進員協議会

環境推進員 118人

会長 川俣 壽男
副会長 原 浩子・小澤 峰子
小山 玲子

所沢地区では、毎年9月に環境推進員を対象とした「視察研修会」を開催しております。この視察研修会は、先進的な取り組みを視察研修することにより、環境推進員としての見識を高めるとともに、地域の生活環境の向上と快適な住み良い環境を

確保するための実践活動に資することを目的に実施しています。これまでに実施した視察先としては環境に関連した施設や工場が特に多かったため、環境推進員の知識の向上等に役立てられているところです。



並木地区環境推進員協議会

環境推進員 88人

会長 宮高 隆
副会長 藤原 正廣
理事 草間 睦
会計 河合 孝雄
監事 ツン 郁子・壽福 史朗

この4月から並木地区24自治会・町内会の環境推進員88名中、新規改選で18自治会・町内会計65名。

6月24日にもったいない市があり、今年はニュータウン自治会が担当当番で計20名が準備・運営・後片付けに参加。7月3日の歩きタバコ等防止キャンペーンには、航空公園駅東口に計12名参加。



松井地区環境推進員協議会

環境推進員 126人

会長 池田 一美
副会長 池田 治男

松井地区では、5月23日の環境推進員協議会総会で選任された推進員126名(うち新規43名)により、本年度上期の活動を精力的に行いました。特に「環境美化の日」一斉美化清掃活動では、活動実施中を知らせる『のぼり旗』を追加製作す

るなどして、取組みの強化を図りました。



三ヶ島地区環境推進員協議会

環境推進員 125人

会長 荻野 義雄
副会長 星野 君子
会計 関根 正志
監事 倉島 景一・堤 淳

三ヶ島地区には4河川あり、それぞれ清掃活動・花植えなどを行っており、また遊歩道の除草・清掃・樹木剪定作業を行っています。その他「歩きタバコ禁止」パネルを掲示し、駅前の吸殻拾いなど、快適な住み良い環境を確保するため、啓発・河川清掃活動など実践活動を行っています。



所沢市環境推進員連絡協議会

事務局：所沢市環境クリーン部 生活環境課

環境推進員1,121名

行政と市民をつなぐ環境リーダーとして市長から委嘱された11地区の環境推進員1,121名により環境推進員協議会が組織されています。所沢市環境推進員連絡協議会は、11地区の協議会が構成員となり各地区の代表が理事となって運営をしています。

新たな布陣で

30・31年度期は、所沢市が目指している「人と自然が調和した未来に残したいマチ」の実現をテーマに研修会、講演会そして資源化に向けての啓発や情報発信などの事業を展開しています。

会長 毛利 吉成(山口地区)
副会長 鈴木由紀子(吾妻地区)
副会長 片居木 栄(小手指地区)
副会長 宮高 隆(並木地区)
会計 久下 紀世(新所沢地区)
会計 宮沢 勝利(新所沢東地区)
監事 荒木 孟(柳瀬地区)
監事 荻野 義雄(三ヶ島地区)

平成30年度総会



柳瀬地区環境推進員協議会

環境推進員 68人

会長 荒木 孟
副会長 原 明宏・竹末 善治

『東所沢駅前の喫煙所移設』今年6月末に喫煙所がバス乗場側からタクシー乗場側に移設となった。ポイ捨ては、バス乗場側が以前より減少し、タクシー乗場側は電話ボックス周辺のみ悪化し、喫煙所周辺は良好である。要因は座る場所が無く

喫煙者の大幅減少にあると推察する。今後もポイ捨て防止啓発活動を継続する。



小手指地区環境推進員協議会

環境推進員 133人

会長 片居木 栄
副会長 並木 幹郎・大館 繁
副会長 大館 信治・指田 栄一
監事 平野 俊浩・上田 恵子
会計 関口 典男

<小手指地区環境推進員協議会体制の強化>
当地区は、地域も広く72の自治会(登録自治会69)があります。現在、加盟69自治会で133名(代表者69名)が委嘱を受けている大きな組

織となっており、事業参加者も多い地区です。このため、今年度会則を改定し、副会長職を2名から若干名(今年度4名)増やし体制強化を図りました。



新所沢地区環境推進員協議会

環境推進員 123人

会長 久下 紀世
副会長 入江 照夫

30・31年度期の新役員での体制で初めての事業「もったいない市」。初めて参加してくれた人、もう何回も協力してくれているベテランの人達、受付・選別場への運び、陳列とスムーズに進んでいった。去年より始めた役割分担の人数も午前も多く、

午後は少し少なめと比較的良好い状態で回ったような気がした一日でした。今後もこの良いチームワークで活動出来たらと思っています。



富岡地区環境推進員協議会

環境推進員 62人

会長 田中 美光
副会長 粕谷 実
市島 美津子

本年度から、「もったいない市」を富岡まちづくりセンターで行いました。また、新たに富岡地域づくりの協議会環境部会のメンバーの「エコネットくぬぎ山」の団体の皆さんと一緒にいきました。



山口地区環境推進員協議会

環境推進員 82人

会長 毛利 吉成
副会長 柴田 幸男・新居 亨一
糟谷 好雄・吉田 公平

「とことん減量」を合言葉に、3R推進を目的とした啓発・実践活動を行っています。最大の行事は「もったいない市」とテーマを決め、課題をみんなで共有する視察研修会(一泊)です。山口独自の「犬フン放置防止の啓発パネル」配布も地道に続けています。また、山口まちづくり推進協議会が主催する里山清掃や柳

瀬川清掃にも参加協力しています。



30年度「春季もったいない市」強力な3R推進の精鋭です。「フティック山口」の開店。推進員相互の情報交換、絆づくりの場にもなっています。

吾妻地区環境推進員協議会

環境推進員 130人

会長 鈴木 由紀子
副会長 日橋 忠洋
雨宮 きく江

「もったいない心」を大切に、吾妻地区は、市内で唯一、地区内全ての会場やまちづくりセンターでもったいない市を開催し、地域の皆様に喜ばれているもったいない市発祥の地です。今年も吾妻独自の再利用可能な「もったいない市のPRポスター」を貼り、地域の皆様から数多くの衣

類や陶磁器等が集まり、必要とされる皆様に再利用いただいております。他にも、歩きタバコ等防止啓発キャンペーンや環境美化の日の活動など地域の環境美化を日々進めています。



新所沢東地区環境推進員協議会

環境推進員 66人

会長 宮沢 勝利
副会長 原崎 英治

本年度から4町会の役員が交代致しましたので、宜しくお願いします。原崎 英治(花園1丁目町会) 湯浅 次郎(花園自治会) 合田 正(つくし町会・花園4丁目) 江森 秀一(弥生町)



航空記念公園外周道路の清掃活動

環境推進員の方も4町会19名中14名新しくなり、長年続けられている方達のご協力、今後も乗り越えて行きたいと思っています。

*「所沢新電力事業」 について

市では、マチごとエコタウン所沢構想に基づき、メガソーラー所沢やフロードソーラー所沢の設置運営による再生可能エネルギー（以下、「再エネ」という。）の創出など、様々な取組みを通じて持続可能なまちづくりを進めています。

所沢新電力事業は、これまで生み出してきた再エネをはじめとする環境にやさしい電力を市域に広めることで再エネの利用率を高めるとともに、市民の自然に寄り添う暮らしを支え、市民や事業者とともに持続可能な地域社会の実現を目指していくものです。

今年5月28日に埼玉県内2事例目となる地域新電力会社「(株)ところざわ未来電力」を設立し、10月からは高圧需要家（市内公共施設及び民間事業者）を対象に電力供給を順次開始していく予定です。

(株)ところざわ未来電力では、得られる収益を活用し市民や事業者の方々の協力を得て、更なる再エネ電源の創出を進めるほか、電力小売事業の特性を活かした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいくこととしています。

<会社概要>

- 会社名：株式会社ところざわ未来電力
- 所在地：所沢市宮本町二丁目2番4号
(上下水道局庁舎内)
- 資本金：1,000万円
- 出資者：所沢市(51%)、JFEエンジニアリング(株)(29%)、飯能信用金庫(10%)
所沢商工会議所(10%)
- 役員：代表取締役 大舘 勉(所沢市 副市長)
- 設立日：平成30年5月28日



電源調達先の例(所沢メガソーラー所沢)

***秋季「環境美化の日」は
平成30年11月4日(日)です。**

*容器包装プラスチックに 名称変更した理由

会報第31号に引き続き、容器包装プラスチックについてお伝えします。

今回のテーマは、分別名称を「プラスチック」から「容器包装プラスチック」に変更した理由についてです。

「容器包装プラスチック」は名称が変わる以前から、工業原料等にリサイクルするために、プラマークの付いている物のみを回収の対象としていました。しかし「プラスチック製品であれば何でも『プラスチック』に出せる」と誤解される方が多く、大量の異物がプラスチックごみに混入してしまい、資源化に支障をきたしている状況が続いていました。

また、異物はリサイクルを阻害するだけでなく、処理施設の事故や故障、現場作業員の怪我の原因等になってしまいます。昨年8月には、西部クリーンセンタープラスチック処理施設にて、混入したモバイルバッテリーの破損による火災が発生しました。

このような状況を踏まえ、商品を入れたり、包むのに使われるプラスチックのみを排出していただくことを明確にするため、平成30年度より分別名称に“容器包装”と付け加えました。「プラマーク」の記載が容器包装プラスチックの目印です。プラスチック製品を処分する際は、今一度「プラマーク」の有無をご確認いただければ幸いです。

編集後記

「かき氷」は、平安時代にあった！清少納言も食べていたとは、驚きです。氷は、平安貴族の贅沢品でもあったようです。仁徳天皇の時代の奈良時代4世紀頃には氷室と呼ばれる貯蔵庫があったと「日本書紀」に。「暑い」、「寒い」など四季のなれ合いを心地良いものにしていくために“自然とのふれあい”の中で工夫を楽しんでいる清少納言のふるまい。“いとたのし”です。

・7月23日の熊谷の41.1度の最高気温は、驚きです。

余談ですが、最低気温は、1902年1月25日(明治35年)に北海道の旭川で氷点下4.1度を記録しています。国内気温の最高と最低が±4.1度という偶然も“いとをかし”です。

編集委員 (◎印は委員長)

◎宮高 隆(並木)、久下 紀世(新所沢)、
新居 亨一(山口)、

事務局：所沢市 環境クリーン部 生活環境課

☎04-2998-9370

所沢市のホームページ

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>